

平成 29 年度 活動報告書

NPO 法人
すぎなみ子育てひろば chouchou

I ひろば事業

1. つどいの広場

月曜日～金曜日及び第 2・4 土曜日	10:00～15:00
利用料	1 組 1 回 100 円
年間利用組数	2097 組 (28 年度 2486 組)
新規組数	310 組
担当スタッフ	常時 2 名 配置
在籍担当スタッフ (30.3.31 時点)	9 名

乳幼児親子が安心して集い、ゆっくり過ごせるひろばです。他の親子との交流や情報交換等もでき、子育てに関する各種情報も常備しています。日常の子育てについて、子どもとの接し方や遊びのヒントなどを、親子が自分たちのペースで交流する中で見付けられる様にスタッフは温かく見守り、お母さんたちの気持ちを受け止めて寄り添い、ともに子どもの成長を喜びたいと思っています。

29 年度は、お誕生会、栄養相談、木のひろばを月 1 回開催したほか、フリーマーケットを春と冬に開きました。また、荻窪子どもセンターの職員の方が出張子どもセンターとしていらして、お母さん方からの質問に答える中で、保育園や公園情報についてのお話などが好評でした。さらに、特別プログラムとして助産師による抱っこひもの使い方講座も開きました。

2 階に場所を移動して 2 年目になりました。まず「赤ちゃんカフェ」に参加し、そちらから「つどいの広場」へと場所を移動してのご利用も増え、お子さんが生後 6 か月を過ぎると「ひととき保育」へとの流れもでき、より安心できる場所になっています。

今後もシュシュならではのひろばの有り方を確認し、その良さを活かして、必要とされる方に気軽にご利用いただけるように工夫をしていきたいと思ひます。

2. きずなサロン プチシュシュ

開催日数	10 日	井草地域区民センター (杉並区下井草)
利用人数	76 組	
料金	おとな 1 人 100 円(飲み物付き)	
担当スタッフ	4～5 名配置	

社会福祉協議会のきずなサロンの一つとして始まったプチシュシュも 7 年目に入りました。シュシュのつどいの広場をそのまま場所を変えて開催することをコンセプトに、月 1 回開催してきました。

昨年度は開催日の第 4 木曜日が祭日と重なったり、開催場所の井草地域区民センターの休館日に

重なったりで、10回の開催となりました。中には毎月楽しみに参加してくれる方々もいて、雰囲気はシュシュのひろばにより近い形になってきました。7月には荻窪子どもセンターから職員の方がいらして、利用者の様々な質問に答えてくださいました。

行政使用として部屋を確保していた井草地域区民センターが今年度から出来なくなり、この4月からはゆうゆう四宮館に場所を移し、そちらの運営事業者であるNPO法人たすけあいワーカーズさざんかとの協働事業として開催することになりました。出張ひろばというコンセプトとは変わりますが、親子支援の視点から外れることなく、多世代交流の可能性も探りつつやっていけたらと思っています。

3. 赤ちゃんカフェ

開催日数	48回
参加人数	454組
参加費	施設利用料 500円（杉並区子育て応援券利用可） 飲み物代 100円
担当スタッフ	毎回4～5名配置

0歳児赤ちゃんのお母さん達に、のんびりお茶をしながらくつろいでいただくひろばとして、毎週水曜日に開催し、より身近により気軽に来ていただけるようになりました。初めての育児の中、喜びと共に不安を感じてしまうこの時期、お母さん同士でおしゃべりしたり、赤ちゃんの様子を見合ったり、お母さんの気持ちに寄り添い、リラックスできる空間を心掛けています。身体測定も随時でき、赤ちゃんを通して自然に話の輪が広がります。また、専門家手作りの季節の焼きたてクッキーと飲み物を100円で提供し、毎回好評でした。また、ボランティアによる絵本の読み聞かせ、手遊びの会を実施しました。

赤ちゃんカフェを初めて利用されたきっかけは、つどいの広場や産前産後支援ヘルパー利用、シュシュ通信や友人の紹介など、シュシュの他の事業からのつながりが感じられます。

0歳児親子だけでなく、妊婦の方も是非ご利用いただきたいと考えていますが、どのようにご案内していくかが課題となっています。

II 預かり保育事業

1. ひととき保育

月曜日～金曜日	9:00～17:00
土曜日（第五を除く）	9:30～16:00
利用料	1時間 800円（杉並区子育て応援券利用可）

	29年度	28年度
年間利用者数	1919人	1968人
お断り件数	429件	457件
キャンセル件数	597件	481件

在籍担当スタッフ（30.3.31現在） 11名

理由を問わない乳幼児の一時預かりです。通院、幼稚園・学校行事はもちろん、リフレッシュ等にもご利用いただけます。引き続き一時預かりへのニーズは高く、多くの方にご利用いただいておりますが、保育園に入園するお子さんも増え、今後の推移を注視していきたいと考えています。また、時期により予約が集中しご希望に添えずご迷惑をおかけすることも多いですが、反面比較的余裕のある時期もあり、キャンセルも多いため不安定要素が多く一時預かり事業の課題といえます。

民家のアットホームな雰囲気、そして心の通う温かさを大切に、預ける方々、子どもたち共に安心していただけるよう、安全で丁寧なお預かりを心掛けています。ご利用いただく前に、まずは「つどいの広場」での事前面談をお願いしています。

2. シュシュ保育室

定員 15 名の小規模保育園です。その内訳は 0 歳児 3 名・1 歳児 6 名・2 歳児 6 名で、民家の 1 階をリフォームし、庭も園庭として改修して開園しました。

- ・ 保育理念…子ども自身の力を信じ、育ちを見守り支える
誰もが『まいにちきたいな』と思う保育室
- ・ 保育方針…子ども一人ひとりの個性や輝きを大切にする温かい保育
保護者と保育士が互いに支えあい、学びあう保育
保育施設を拠点として地域との絆を育む保育
- ・ 保育目標…「やってみよう！のびのびと！」「大切にしよう！自分と仲間」
自分で考え挑戦する子ども
自分も仲間も大切に作る子ども

保育室を立ち上げるにあたり、上記の保育理念・保育方針・保育目標を立てて、一年間保育してきました。乳児とはいえ認可保育室なので、最小限での日本古来の伝統行事も伝えようと組み込みました。

〈年間行事〉	4 月…入園式・入園説明会	12 月…お楽しみ会
	5 月…子どもの日の集い	1 月…新年顔あわせ会
	7 月…七夕まつり集会	2 月…節分集会
	8 月…水あそび開始	3 月…ひなまつり集会
	10 月…親子で一緒にあそぼう会	3 月…そつえんお祝い会

その他…お誕生会（その子の誕生日に行う）・個人面談（5~6 月）・保護者会（3 月）

以上が一年間に取り組んだ行事です。

★10 月に行った『親子で一緒にあそぼう会』には、保護者の方が 40 名以上参加してくださいました。職員が目前の子ども達の成長発達をきちんと押さえて、種目を考え計画したので、無理なく取り組むことができました。参加された保護者からも、乳児でありながらいろいろなことができたことに驚き、子ども達と一緒に楽しめたことが良い思い出となりましたという感想が寄せられました。

★3 月の『そつえんお祝い会』はシュシュ保育室から、はじめて他の園に子ども達を送り出すお祝い会となりました。乳児とは言え子ども達はそれなりに感じる場所があり、職員は 5 歳児クラスまで成長した姿を見ることができず、他の保育者に委ねなければならない悔しさを味わいました。

★杉並区の待機児童対策の一環としてこの 2 年で小規模保育園を含む多くの保育園が開園しました。認可保育園、認証保育所など保育園全体で 230 施設にもなります。しかし器は増えたものの、各施設は保育士不足でシュシュ保育室も思うような人手の確保できませんでした。そのうえ職員がインフルエンザにかかり 2 度ほど大変な時もありましたが、ひととき保育・つどいの広場を始めその他スタッフの力を借りて、何とか乗りきることができました。

開室当初は保育士資格は持っているものの、保育室の保育をどう進めるのか戸惑う職員、4 か月で辞職した園長に代わり、園長経験のない者が園長の職に就くなど、綱渡りのような保育室でしたがまわりに助けられて、無事に一年を終えることができました。2 年目を迎える今年には保育の質を少しでもアップできるように各自考えて、保育に取り組んでいきたいと思っておりますが、まだまだプロ意識の薄い職員集団です。3 年目を迎えるころには、自分の足でしっかり立つことができ、上記の目標に近づける保育室をめざして、各自が自己啓発を心がけていきます。

3. 集団託児

講座やイベント会場にての託児で、本格的に初めて 3 年目となりました。

行政関係から受託した託児を中心に、今年度計 22 回、区内公共施設を中心に出向き託児を行いました。お預かりするお子さんの人数や年齢により派遣する人数を決定しますが、最低 2 名の体制で、安全なお預りのために細心の注意を払っています。お預かりする場所の状況により、敷物や年齢に合わせた玩具等を持参しての託児です。

Ⅲ 妊娠期からの子育てまでの情報啓発事業

1. 親子リトミック講座

クラス名	対象	実施回数 (回)	参加組数 (延べ組数)
ねんね	0 歳児親子	38	285
はじめてねんね	初参加の 0 歳児親子	5	38
よちよち	1 ～ 2 歳児親子	44	326
よちよち 3 ヶ月コース	〃	1	24
未就園児	2 ～ 3 歳児親子	30	212
未就園児 3 ヶ月コース	〃	2	45
幼稚園	年中・年少児	4	18

イベント名	対象	実施回数(回)	参加人数(人)
サマーコンサート	各クラス	2	38
クリスマスコンサート	各クラス	2	60

シュシュの親子リトミックは親子のコミュニケーションの促進、他の親子との関わり、地域への

入り口との位置付けで開催しています。専門講師3名が分担し大変熱心に取り組んでいただいております、参加者から高い評価をいただいております。

通常のコースはなるべく多くの親子が参加できるようにご予約は1回毎に受付けています。継続しての参加を希望する親子向けには3か月コース（よちよちクラス・未就園児クラス）を用意しています。

杉並子育て応援券対象となっている通常のコースは参加希望も多くクラスを増設したこともありますが、応援券の対象外となる3か月コースは申込みにはばらつきもあり、開講を見合わせたこともありました。

月1回開催している「はじめてねんね」は、参加者が同じスタートであり安心感を持てるのではないのでしょうか。さらには出産後初めて親子で出かけるきっかけのひとつとしても大きな役割を果たしていると思います。また、「赤ちゃんカフェ」に参加された方が一緒にリトミックに参加されたり、リトミックで一緒になった方がその後、つどいの広場を利用し昼食を摂られるなど、良いつながりが出来ているようです。

恒例のサマーコンサートとクリスマスコンサートも開催しました。お馴染みの曲に合わせて親子でリズムをとったり、講師の歌や楽器演奏もありで会場が盛り上がります。このコンサートへの参加をきっかけに親子リトミック講座へ参加された親子さんも大勢いらっしゃいます。

参加費	各クラスともに1回	1000円	(子育て応援券利用可)
	3ヶ月コース(6回分)	6000円	
	コンサート	1200円	(子育て応援券利用可)
講師	講師3名でクラスを分担して担当		

IV 小学生の居場所事業

1. 小学校の夏・冬・春の長期休暇中の宿題ひろば

参加費 1回 500円 (おやつ代込み)

開催月及び日数	参加延べ人数
夏休み 2日間	16
冬休み 2日間	15
春休み 3日間	10

各休暇中の2～3日間、学校の宿題の仕上げや予習復習、読書等にじっくり取り組むことができるようにボランティアやスタッフが見守ります。最終日にはゲーム大会等のお楽しみ会も企画しました。違う学校や違う学年の仲間との交流、親や先生以外の大人との会話を通じて、また新たな休暇中の過ごし方となればと考えています。

2. 毎週火・木曜日の小学生ひろば

開催日数及び参加人数 87日 述べ657名

参加費 1回 100円 (おやつ代込み)

小学生の安心安全な放課後の居場所としてのひろばです。

毎週火・木曜日の週2回の開催。15時～18時の任意の時間に利用でき、宿題のプリントや音読、自習用のドリルに取り組んでいます。おやつの中には学校での話題で盛り上がり、勉強が終わっ

た子どもたちはボードゲームや鬼ごっこ、工作などをしてすごします。学芸会の季節にはみんなで即席劇を楽しんだり、ハロウィーンの時期にはおばけごっこで楽しんだり、想像力たくましく学年を超えての楽しみを見つけていました。

参加者も増えており、来年度からは年会費を設定し、運営の安定化につなげます。

引き続き見守りボランティアを募集しています。

V 子育てをサポートする人材育成事業

今年度は独立した事業としては実施いたしませんでした。

VI 家庭訪問型子育て支援事業

産前・産後支援ヘルパー

産前産後の家事や育児の支援を必要とするご家庭をヘルパーが訪問する子育て支援です。

杉並区からの委託を受け開始して3年目の事業です。

さらに委託事業で定められた利用期間や回数を超える場合は、自主事業として同じ内容で実施しています。

依頼があるとまずはコーディネーターが訪問し、お母さまの状況を確認してご要望を伺い、具体的な支援内容をご相談します。主な内容は食事の支度や簡単な掃除、赤ちゃんの沐浴のお手伝いや上のお子さんの保育園などへの送迎などとなっています。お母さんの話し相手になったりちょっとした育児相談もあり、ヘルパーは自身の子育て経験を話したり、必要に応じ他のサービスのご紹介もしていて、赤ちゃんカフェやひととき保育につながっています。

ヘルパーは研修や打ち合わせを通じて最近の子育て情報を学び、産前産後のお母さんの気持ちに寄り添い、心身の負担が少しでも軽くなるよう心掛けています。

申し込み件数	136 件
訪問回数（委託分）	675 回
ヘルパー人数（平成 29.3.31 現在）	15 名

VII 子育て関連ネットワーク構築事業

多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」の運営

新たに運営を開始した「お茶の間ひろば茶ちゃ」は、「地域で子育てを」をキーワードとして活動してきたその先にある「誰でもが安心して生活できる街」を目指し、地域の居場所として多世代が出会い交流できるようにしていきたいとの思いで検討を重ねています。

シュシュ独自の事業としての利用のほか、レンタルスペースとしても展開しています。

今年度はこの場所の周知のためのプログラムをいくつか開催しました。

①西武信用金庫「西武街作り活動助成金」事業 「多世代交流@お茶の間ひろば茶ちゃ」

この場所のお披露目及び周知を目的として、下記の内容で4回にわたり開催しました。

参加費；無料

- ・落語の会 地域に住む落語家

- ・音楽の会「花は咲く」をみんなで歌い、後半はギターデュオのお二人のカントリー演奏
- ・紙芝居の会 プロとして活躍中の見せ語り紙芝居師による昔ながらの紙芝居
- ・おいしいぞ！杉並の野菜 JA職員からの杉並産野菜の紹介と味見

いずれも、大人も子どもも楽しめる内容で、参加者全員が一体となったひとときでした。

②家計の見直しセミナー

基本編 参加費；無料 実施回数；6回 26名参加

ステップアップ編 参加費；500円 実施回数；1回 2名参加

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社の社会貢献事業としてファイナンシャルプランナーによる子育て中ママ向けの基礎講座を開催しました。今後の生活を見据えての資金計画の考え方の基本を学ぶ機会となったようです。

レンタルスペースとしての「茶ちゃ」

本年度はフラダンス講座・着付けのお教室・ママ友同士の各種パーティーなどにご利用いただきました。

今後も地域の居場所「茶ちゃ」として、多くの皆様に周知されてレンタルスペースとしてのご利用につながるようにより一層の工夫が必要と考えています。その為にもシュシュ利用の方々のニーズに応える企画や、多世代の利用につながるプログラムなどを発信していく予定です。

「茶ちゃ」の強みを明らかにして、ニーズに結び付けていくためにも是非一度「茶ちゃ」まで足をお運びいただき、「こんなことができるかもしれない」といった情報をお待ちしています。

VII 今後に向けての新たな展開

現在杉並区は新たな地域子育て支援拠点施設「子ども・子育てプラザ」の整備を進めています。その中に設置される一時預かり事業については民間に委託されており、2か所目の設置となる平成30年4月オープンの「子ども・子育てプラザ天沼一時預かり」についてその事業運営を受託しました。

子ども・子育てプラザ天沼は乳幼児親子専用のひろばとして整備され、その中の一角に一時預かりのスペースが独立してあります。「ひととき保育上荻」に加えて2か所目の一時預かりの運営となり、当初は2か所を運営することについて判断に迷うこともありましたが、スタッフ間で相談を重ね、今後の法人の基盤強化のためにも前に進むべきと決断いたしました。

今後、一時預かりをしっかりと運営しながら、子ども・子育てプラザの職員とも交流し、連携出来ることを考えたいと思います。